

## 《Lesson 2》一般動詞の肯定文（現在形②） <he / she / it>

ここでは、主語が he/she/it（または、Taro や Hanako のように、he/she/it に言い換えられる名詞）の時の、一般動詞の文を学んでいきます。これは「3 人称・単数・現在形」というところから、「3 単現」と言われることもあります。3 単現の肯定文は、主語が I / you / we / they の時と基本的に同じなのですが

「一般動詞の語尾に **s** または **es** を付ける」

といった特徴があります。

### 【一般動詞の肯定文（現在形②） < he / she / it > : 基本の形】

**He**

**She + 一般動詞 s/es** （+目的語）（+〜）.

**It**

- <例> He **runs** every morning. （彼は、毎朝走ります）  
She **teaches** science. （彼女は科学を教えます）  
My dog **likes** this ball. （私の犬はこのボールが好きです）  
My brother **\*wants** to play soccer. （私の兄はサッカーをしたいと思っています）

\* **want to ~ / like to ~ / need to ~** の場合、**s** や **es** がつくのは、**want / like / need** のみ。

- <例> He **wants** to **eat** this. （彼はこれを食べたいと思っています） <eat には、s/es がつかない>  
She **likes** to **study** English. （彼女は英語を勉強するのが好きです） <study には、s/es がつかない>  
He **needs** to **come** here. （彼はここに来る必要があります） <come には、s/es がつかない>

### 【一般動詞に **s / es** を足すルール】

#### (1) **s** を足す場合=大部分の一般動詞

- <例> He **runs** every morning. （run → runs になる）  
<彼は毎朝走ります>

- She **speaks** French. （speak → speaks になる）  
<彼女はフランス語を話します>

**(2) es を足す場合 = 基本的に名詞の複数形に es をつけるルールと同じ**

《名詞の複数形に es をつけるルール》

- ・ 単語の最後の文字が **s / o** (ただし「子音+o」) , **x, sh, ch** の時  
　　<覚え方: ソックス(sox)をシュッチュ(sh, ch)と洗う>
- ・ 単語の最後の文字が「子音+y」の時は、 y → i にして es

<例> He **teaches** music. (teach → teaches になる)

<彼は音楽を教えます>

Yoshiko **does** her homework every day. (do → does になる)

<ヨシコは、毎日宿題をします>

She **studies** Korean with Jiro. (study → studies になる)

<彼女は韓国語をジロウと勉強します>

**(3) 例外の形: have → has (haves =×)**

<例> Kenji **has** a dog. (have → has になる)

<ケンジは犬を飼っています>

\*This city **has** many schools. (have → has になる)

<この市にはたくさんの学校があります>

\*「〇〇(場所)にある」という場合、動詞には **have** がよく使われる。

<例> My city **has** three big libraries.

(私の市には3つの大きな図書館があります)